

上高が 甦った「若駒寮」

旧若駒寮は1934年(昭和9年)の建築と見られる木造2階建てです。もともとは個人住宅(松原邸)で、昭和30年代前半に同窓会が購入したものです。昭和59年2月には鉄骨2階建ての東館が完成し、部活動での利用が盛んになりました。

若駒寮が老朽化し、シロアリの被害も甚大になり、創立百周年事業の一環として、東館の建物と合わせ、卒業生、在校生各世代の交流をはかるために改修することになりました。同窓生による設計コンペを行い、13名の作品の中から渡辺徳弘(昭和63年卒)さんの作品が選ばれました。作品は「青春の記憶装置」という理念で、吹き抜けの空間を設けるなど独自の表現が評価されました。

▶ [玉高新聞関連記事「待望の同窓会館本館完成」](#)
第156号(昭和59年2月29日発行)



西側より玄関を臨む(左側は同窓会事務局)



南側(テニスコート側)から見た玄関部分



改装された宿泊棟(昭和59年建設)



南側の入り口(左は土間ギャラリー)



モニュメントとして残された旧若駒寮の基礎と鬼瓦



玄関と土間ギャラリー



多目的室



同窓会事務局の部屋



引き渡し説明会(10月8日)

若駒寮落成式



箏曲愛好会による琴の調べ



設計者の渡辺徳弘さん

10月10日(金)、落成式が行われました。式には建設工事関係者、同窓会、育友会、学校の関係者が参加し、まず、箏曲愛好会による琴の演奏で始まりました。続いて、同窓会長、学校長、育友会長から祝辞が述べられ、なごやかに懇談が行われました。設計者の渡辺さんも神奈川から駆けつけ、自分の設計した建物が後輩たちに使ってもらえる喜びを語っていただきました。寮の内部はふんだんに木材が用いられており、とても暖かみを感じる建物になっています。今後、部活の合宿や同窓会の会合などで頻りに利用されるのではないかと思います。



(改築前)

